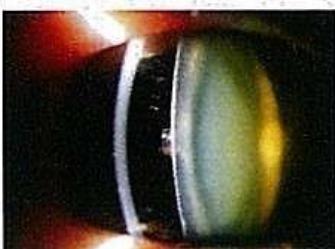




## いわて医療通信 白内障 かすみや、まぶしさが気になつたら

夜間に運転中に信号や対向車のライトが強く感じて見にくかったり、以前より近くも遠くもかすんで見えたりするような症状はありますか。もしかしたら、白内障が原因かもしれません。

白内障は50歳で4割、60歳で7割、70歳以上ではほとんどの方が持つ身近な病気です。白内障では、物を見るときにピントを合わせる役割をする水晶体という部位が濁ってきます。この水晶体の中身は生まれた時は透明ですが、加齢や紫外線、たばこ、糖尿病、薬剤(ステ



ロイド)が誘因となり、水晶体の中のタンパク質が変性して濁ります。一度濁りが出ると消えないため、年々進行していきます。

水晶体の濁りはカメラのレンズの濁りと似ており、かすんでみえたり、光がまぶしくなったり、一重にみえたるという症状がでてきます。濁りが進むと視力が低下します。

白内障はゆっくり症状が進むことが多いため、様子を見ても問題ないことが多いです。しかし白内障の症状かと思つていたら、何が原因なのかを調べる

実は違う病気が隠れている可能性もあります。一時的な見にくさはドライアイなどでも起りますが、視力低下は緑内障や加齢黄斑変性などの目の奥の方の病気による可能性もあります。これらは眼科を受診し、診察を受けないと判断できません。白内障以外の病気がある場合、様子を見ているうちに症状がどんどん進み、気づいた頃には視力が上が

ためにも、お近くの眼科を受診してください。

眼科 池田千花



岩手医科大学